

安全データシート

作成 2008/06/06

改訂 2023/04/01

製品名：BY・FAR Z-K

1. 製品及び会社情報

製品名：BY・FAR Z-K

会社名：グローブイーピー株式会社

住所：〒963-0215 福島県郡山市待池台1丁目55-58

TEL.024-983-3748 FAX.024-959-5051

担当者：黒沢 教大

緊急連絡電話番号：同上

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類：区分に該当しない

可燃性ガス：区分に該当しない

可燃性または引火性の高いエアゾール：区分に該当しない

酸化性ガス：区分に該当しない

高圧ガス：区分に該当しない

引火性液体：区分に該当しない

可燃性固体：区分に該当しない

自己反応性化学品：区分に該当しない

自然発火性液体：区分に該当しない

自然発火性固体：区分に該当しない

自己発熱性化学品：区分に該当しない

水反応可燃性化学品：区分に該当しない

酸化性液体：区分に該当しない

酸化性固体：区分に該当しない

有機過酸化物：区分に該当しない

金属腐食性物質：区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分に該当しない

急性毒性(経皮)：区分に該当しない

急性毒性(蒸気)：区分に該当しない

急性毒性(吸入：ミスト)：区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性：分類できない

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：分類できない

呼吸器感作性：分類できない

皮膚感作性：分類できない

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：分類できない

生殖毒性：分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：分類できない

誤えん有害性：分類できない

環境に対する有害性

水性環境有害性 短期(急性)：区分に該当しない

水性環境有害性 長期(慢性)：区分に該当しない

GHSラベル要素 : なし

注意喚起語 : なし

【最重要危険有害性】

人体に対する有害な影響 : 目に入ると低刺激
環境影響 : 生分解性良好
物理的及び化学的危険性 : 特になし
化学物質等の分類 : 分類の基準に該当しない
危険有害性情報 : 眼への刺激
注意書き : 使用前に安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面等の保護具を着用する事。

3. 組織、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
化学名又は一般名 : ポリオキシアルキレンアルキルエーテル
ヤシ油脂肪酸アミドプロピルジメチルアミノ酢酸ベタイン
食添エタノール(補助剤) 0.3%
成分及び含有量 : 主剤 4.9%
補助剤 食添エタノール 0.3%
CAS No : 食添エタノール (64-17-5)
化審法 : 食添エタノール (2-202)
安衛法 : エタノール (政令番号61)

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にさせる。
目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、刺激がある場合は、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水又は温水で洗い落とす。皮膚に異常が出た場合は、必要に応じて医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水を多量に飲ませ、吐かせてから医師の診察を受ける。
応急処置をする者の保護 : 救助者は可能な限り保護具(手袋、眼鏡等)を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤 : 指示はない。
消火方法 : 不燃物である。周辺火災の場合、速やかに安全な場所に移す。
使ってはならない消火剤 : 情報なし
火災時の特有危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業時には煙の吸入を避ける。
消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 漏出時の処理を行う際には、必ず簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等を着用すること。
環境に対する注意事項 : 多量の場合は、河川への流出を防止する。
封じ込め及び浄化の方法 : 少量の場合は、水で洗い流す。多量の場合は、空容器に出来るだけ回収し、ウエス等で拭き取った後、多量の水で洗い流す。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱 : 簡易マスク、ゴム手袋、長靴、保護メガネ等の保護具を着用する。
保管 : 直射日光下・30度以上の高温になる場所を避け密栓し、屋内に保管する。
氷点下で凍結するので、冬期は凍結しない場所に保管する。
一度開封された容器は、注ぎ口をきれいに拭き取り、完全密封して保管する。
保管量 : 備蓄量の制限はない。
保存期間 : 目安として1年間以内に使い切る。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 特に設定なし
管理濃度 : 設定なし
許容濃度 : 設定なし
日本産業衛生学会 : 設定なし

ACGIH : 設定なし
保護具 : 必要に応じて簡易マスク、ゴム手袋、長靴、防護メガネ等を使用する。
使用後は水洗浄すること。

9. 物理的及び化学的性質

【外観】

物理的状態 : 液体 (常温)
色 : 無色透明
臭い : 微かな薬品臭
pH : 7.0~7.3 (15°C)

【物理的状態が変化する温度】

沸点 : 100°C
引火点 : 引火せず
発火点 : 発火せず
爆発限界 : 下限、上限とも設定なし
比重 : 1.02 (25°C)
粘度 : 5.1Pa・s (15°C)

【溶解性】

水 : 水溶性、軟水、硬水で性能不変
その他の溶媒 : 設定なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 酸・アルカリに安定。他の洗剤、溶剤に可溶安定。
反応性 : 特になし
避けるべき条件 : 30度以上の場所に長時間放置しないこと。
避けるべき物質 : 特になし
危険有害分解生成物 : 特になし

11. 有害性情報

急性毒性 : LC50 240mg/L ((財)日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ)
皮膚腐食性・刺激性 : データなし
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器・全身毒性 単回暴露 : データなし
特定標的臓器・全身毒性 反復暴露 : データなし
吸引性呼吸器有毒性 : データなし

12. 環境影響情報

移動性 : 物理化学的性質からみて、水域・土壌環境に移動しうる。
残留性/分解性 : 生分解度83%以上(OECD化学物質テストガイドラインによるDOC法)
魚毒性 : LC50 240mg/L ((財)日本食品分析センター Binominal法 サンプル魚ヒメダカ)
その他のデータ : データなし

13. 廃棄上の注意

: 100倍以上の希釈処理の上廃棄。あるいは、産業廃棄物処理業者に委託。
空容器を廃棄する場合は、内容物を処理した後処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 該当なし
国連分類 : 該当なし
国連番号 : 該当なし
輸送の特定の安全対策及び条件 : 「7. 取扱及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。
運搬に際しては、容器から漏れがない事を確かめ、転倒・落下・損傷などに注意して積み込み、荷崩れ防止を確実に進行。
海上輸送及び航空輸送 : 非危険物につき混載可。

15. 適用法令

化審法：優先評価化学物質（法第2条第5項）

ジェタノールアミン

N, N-ビス(2-ヒドロキシエチル)アルカンアミド(C=8, 10, 12, 14, 16, 18、直鎖型)、(Z)-N, N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オクタデカ-9-エンアミド又は(9Z, 12Z)-N, N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オクタデカ-9, 12-ジエンアミド

[(3-アルカンアミド(C=8,10,12,14,16,18、直鎖型)プロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセタート又は(Z)-[[3-(オクタデカ-9-エンアミド)プロピル](ジメチル)アンモニオ]アセタート

労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）
エタノール

毒物及び劇物取締法：非該当

化学物質排出把握管理促進法：第1種指定化学物質

(PRTR法) ジェタノールアミン（管理番号：626） 0.1%未満

N, N-ビス(2-ヒドロキシエチル)アルカンアミド（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。）、(Z)-N,

N-ビス(2-ヒドロキシエチル)オクタデカ-9-エンアミド及び(9Z, 12Z)-N, N-ビス(ヒドロキシエチル)オクタデカ-9, 12-ジエンアミド並びにこれらの混合物（管理番号：707） 3.3%未満

[(3-アルカンアミドプロピル)(ジメチル)アンモニオ]アセタート（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が8、10、12、14、16又は18のもの及びその混合物に限る。）及び

(Z)-[[3-(オクタデカ-9-エンアミド)プロピル](ジメチル)アンモニオ]アセタート並びにこれらの混合物（管理番号：574） 0.7%未満

消防法：非該当

16. その他の情報

：本製品安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の見取りを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。